



多様化する国際法務への対応を強化 －九州大学国際法務室を設立－

概要

教育、研究活動のグローバル化の進展に伴い、九州大学では留学生の受入れ人数が急増するとともに、外国人教員・研究者の採用や国際的な大学間、産学連携活動が活発化、多様化してきています。このような取組みに伴う国際的な契約および交渉を円滑に行うとともに、コンプライアンスの強化のため、九州大学は4月1日に「九州大学国際法務室」を設置しました。

背景

外国の諸機関との共同研究や外国人の雇用に当たっては、国際的な交渉や契約を円滑に進めるとともに、トラブルや紛争が起きないように、関係法令の遵守を徹底することが重要です。

九州大学では、平成19年7月に知的財産本部内に「国際産学連携センター(UNIC)」を設立し、国際的な産学官連携に関する契約の締結や諸外国の法令に関する問題の解決に対応してきましたが、近年の「国際化拠点整備事業(グローバル30)」の採択や「カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所」の設置等により、急速に外国人教員・研究者・留学生が増加しており、外国の諸機関との連携も増加・多様化しています。

このため、専門的知識を有する職員や外部専門家による組織的な支援体制の整備が急務となっていました。

内容

今回、設立した「国際法務室」では、企業等での国際法務に関する実務経験が豊富な教員やスタッフが

- ・外国の政府機関、企業、大学等との契約・協定の締結支援
- ・外国人教員・研究者の雇用契約の締結支援
- ・外国の法律に関する助言
- ・大学における国際法務業務の在り方に関する調査・研究

などを行います。

効果

専門的知識を有する職員を有する「国際法務室」の設立により、外国人教員・研究者の雇用や外国の諸機関との連携等に係る交渉や契約の着実かつ円滑な遂行に資する支援・助言により、トラブルを未然に防ぐことや多様化する国際法務に係る組織的な強化が期待されます。

【お問い合わせ】

国際法務室 副室長 岡田 昌治 (教授・NY州弁護士)

電話：092-642-2791

E-mail: legal@qilo.kyushu-u.ac.jp